

# あおやぎレポート

第3号

平成 30 年 9 月  
越前町議会議員  
青柳良彦

皆さまには、たいへんお世話になっております。

今年は、大雪に始まり、夏は猛暑・大雨、台風 12 号は今までにないコースをたどり、40 年以上の歴史の中で初めてあさひまつりが中止となりました。極端な気候に振り回されているような、そんな感じのする年ではないでしょうか。

7 月初旬の大雨時には、朝日・宮崎・越前各地区に避難勧告が発令され、さらに宮崎地区には避難指示（緊急）まで発令される事態となりました。

越前町では、幸いにも人的被害はありませんでしたが、全国に目を向けると、岡山県、広島県、愛媛県では平成に入って最悪の被害状況になりました。

緊急時に大事なことは、情報の収集と冷静な判断だと思います。

西田中区においては防災組織が整備されていますが、何よりも各自が危機感を持ち早めの行動をとることが大事であると思います。

さて、今回のレポートでは、6 月定例会から 8 月末までの報告をさせていただきます。

## ----- 目 次 -----

2 ページ	6 月定例会（補正予算）
3・4 ページ	一般質問
4 ページ	県選出国会議員陳情・大雨被害状況
5 ページ	織田児童館建設事業経過報告
6 ページ	県選出国会議員要望
7 ページ	鯖江・丹生消防組合議会
8 ページ	その他・あとがき

## 6月定例会 (6月12日～15日)

補正予算など報告案件3件、議案11件が上程されました。

### 6月補正予算

歳入歳出にそれぞれ3億2,582万2千円を追加し、一般会計の総額を132億9,403万円とするものです。

### 主なもの (朝日地区関連)

#### ◎県単小規模土地改良事業・・・予算総額 1,830万円

(国の採択基準に満たない規模の農村集落内環境を整備し、農業生産の向上と農用地の高度利用を推進するための事業です。県50% 地元10%負担)

地係	事業費	県補助金	地元負担	一般財源	備考
市	3,200	1,600	320	1,280	排水路改修 延長74.0m
小倉	3,900	1,950	390	1,560	用水路改修 延長70.0m

※朝日地区関連 (単位：千円)

#### ◎社会資本整備総合交付金事業・・・予算総額 1億7,300万円

(国の内示を受け、社会資本である道路網の構築や道路構造物の長寿命化を図る事業です)  
町道東気比庄線橋梁修繕費・・・7,100万円



#### ◎住宅管理一般事業・・・190万円

(西田中駅前団地において、2月の大雪により樹木が傾き、フェンスも破損したため、これらを撤去または修繕する事業です)



## 一般質問

今回は、前回から取り入れられた一問一答形式により「観光振興について」町長の所見を質しました。

【青柳】

内藤町長は、初当選以来「観光立町」を公約に掲げ、観光行政に力を注いでいるが、「観光立町」を目指す上で具体的に何を目的としているのか。

【町長】

観光産業は、観光関連業者の分野だけでなく、製造業、農林水産業など幅広い分野に関連のある裾野の広い産業であるため、観光消費による地域全体への生産波及効果や雇用創出効果が期待される。

地域全体への経済効果を図ることで地域に活力がみなぎり、地域経済が潤うことを目的としている。

【青柳】

観光産業は、他産業から生産品、製品を供給されて成立していることを、十分に理解した上で、観光行政を進めていただきたい。

【青柳】

観光振興の名の下に、多大な労力と補助金を費やしても、その額が大きくなればなるほど、周囲からは観光関連の事業者だけを潤すにしか見えず、町民の中に少なからず不公平感が生まれるという弊害がある。観光行政と他の行政とのバランスはとれているのか。

【町長】

観光だけに力を入れていることはなく、限られた予算の中で、商工業・農林水産業や人口減少・少子高齢化などの重要課題には、必要な予算措置を行いメリハリの効いた町政運営に努めている。

【青柳】

財政状況が苦しくなる中、再選時に表明した観光入込み客数 400 万人を目指すための具体策は。

【町長】

3本の柱を考えている。一つ目は、既存の観光資源を磨き、新たな観光資源の開拓。二つ目は、交通アクセスの確保、観光ルートの整備、旅館などの老朽化に伴う宿泊施設の環境整備等の充実。三つ目は、効果的な情報発信をしていく。高い目標だが、創意工夫に努め挑戦していく。







## 織田児童館建設事業について

織田児童館建設事業について、町長の謝罪の件が新聞に掲載されたので、その経緯についてご説明いたします。

当事業は、平成29年6月定例会において設計費159万4千円、平成30年3月定例会において建設費3,985万2千円が認められましたが、入札が執行されていない状況で、本6月定例会において634万6千円の追加補正が提示されました。入札前の事業に追加補正はまずあり得ないことであるので、総務文教厚生常任委員会を臨時に開会し、議論を重ね意見を集約しました。

原因は、担当課の職務執行の遅れによる見込による予算編成であったことが判明し、委員会として嚴重に注意の上、賛成多数で認めることとなりました。

ところが後日、3月定例会時に受けた説明資料と6月定例会時に受けた説明資料が全く同じもので、補正予算説明資料としては不適合なものであることが判明し、全員協議会において、議会と理事者側との信頼関係に重大な疑義が生じているという意見が多数を占め、本会議場において町長に謝罪を求めるとなり、新聞にも掲載された次第です。



今回の事案は、議会が理事者側の追認機関であるかのような誤解を生じさせ、議会の存在意義を問われかねないような重大なことです。

議会・理事者・職員が緊張感を持つことの重要性を痛感させられました。また、民生部門が畑違いの建設事業に関わること自体、組織的に問題があると思います。今後、この点についても議論していきます。

## 県選出国會議員要望活動 7月11日

※紙面の都合上、朝日地区関連の要望のみをご報告いたします。

県選出国會議員に対して、新規要望を2件、継続要望を4件の要望を行いました。

国会日程が大変込み合っている中、全自民党議員の先生方に詳しく要望することができました。

天王川河川改修について、第2期計画（市姫橋～五箇堰）は、平成30年度は、1億8,000万円、平成31年度～34年度までに10億3,100万円の計画になっていますが、地域住民は、近年のゲリラ豪雨や想定外の大雨の危険にさらされているため、早期完成を強く要望いたしました。



本年度から天神橋付近の工事が始まっています。今年中に橋を解体し、完成までに約4年を要します。この間、仮設の歩道橋はできますが、車両は完全通行止めになります。

## 鯖江・丹生消防組合議会 (8月8日)

### 8月補正予算

歳入歳出の総額に 3,900 万円を増額し、歳入歳出それぞれを 16 億 5,328 万円にするものです。

増額分の 3,900 万円は、越前町消防団朝日地区第 3 分団車と同宮崎地区第 3 分団車の更新費用です。



### 平成 29 年度決算認定

平成 29 年度の決算は、歳入総額が 13 億 5,548 万 5 千円、歳出総額 13 億 3,238 万 4 千円となり、歳入歳出差引額は、2,310 万 1 千円の黒字決算となりました。

※参考 消防組合は、鯖江市と越前町が協定に基づいた分担金を負担することにより運営されています。

平成 29 年度は、鯖江市が 8 億 3,594 万 4 千円、越前町が 4 億 3 0 万 2 千円を負担しています。

### 消防活動状況

火災出動件数・・・19 件 前年比 9 件減少  
救急出動件数・・・3,139 件 前年比 154 件増加  
救急搬送人員・・・2,927 人 前年比 70 人増加

※参考 火災件数はここ数年減少傾向にありますが、救急出動は、増加の一途をたどっています。救急車が出動すると非番員が分遣所に駆けつけ対応にあたるなど、消防職員の負担が非常に大きくなってきています。財政状況が非常に厳しくなる中においても、職員定数の見直しは喫緊の課題となっています。



## その他

平成 30 年 7 月豪雨による被害状況についてご報告いたします。  
 気象状況（鯖江・丹生消防本部 丹生分署 気象日報より）

	降水量	
	日積算	日最大時間雨量
7月5日（木）	120.5mm (0:00~24:00)	22.0mm (13:00~14:00)
7月6日（金）	66.5mm (0:00~24:00)	13.5mm (14:00~15:00)
7月7日（土）	147.0mm (0:00~24:00)	26.0mm (7:00~8:00)
合計	334.0mm	



3 日間で 334 ミリの降雨量で、越前町内では**家屋被害 23 件、道路被害 65 件、河川・急傾斜地被害 17 件、農地・治山被害 6 件、その他被害 9 件の被害**がありました。

もし、1 日でこれだけの降雨量があったなら物的被害にとどまらず、人的被害も発生したかもしれません。全国的には、珍しいことではありません。（過去には、1 日 850 ミリ超の記録もあります。）

今後は、難準備情報・避難勧告が発令された時点でためらうことなく行動することが自分や家族を守るためにも必要です。

### ※前町消防団活動状況（主なもの）

7月5日 20:00~23:00	和田川（春日）土のう積み	220 人出動 1,000 個
7月7日 7:00~11:00	天王川（気比庄）土のう積み 越前地区土のう積み	270 人出動 1,000 個 3,000 個



和田川での土のう積み



天王川での土のう積み



あとがき

今年の気象は例年になく極端な傾向にあるのではないかと痛感しています。

特に 7 月の豪雨時には、消防団の方々には深夜・早朝から出勤され、地域住民の安心安全のために献身的に作業をされました。心から感謝申し上げます。

さて、平成 32 年度からは、地方交付税が算定替えとなり、国からの交付税が約 12 億円減額されます。当然のことながら、非常に影響のあることです。今までのような行政サービスや施策が実行できなくなることも十分想定されます。

まだ先の話ですが、今から準備を整えておかなければならない重要なことだと考えています。

今後とも、安心安全なまちづくりを目指して議員活動をしてまいります。

青柳